

チェルノブイリ 通信

2009年5月17日

No.76

発 行 NPO法人 チェルノブイリ医療支援ネットワーク
連絡先 〒811-3102 福岡県古賀市駅東2-6-26 パステル館203号
TEL・FAX 092-944-3841
E-mail jimu@cher9.to
ホームページ <http://www.cher9.to/>
郵便振込口座 01770-1-65328



チェルノブイリ医療支援ネットワークは、チェルノブイリ原発事故で被災した人々のために、現地から求められる医療支援を行います。
この活動を通して、日本とベラルーシの人々の心と心のつながりを深めます。



チェルノブイリを越えて、被災地では次の世代が育つ。リュドミラとアンナちゃん

特集：チェルノブイリ原発事故から23年

汚染地の甲状腺ガンは今
アルツール・グリゴロビッチ医師に聞く

コラム チェルノブイリと甲状腺ガン

チェルノブイリを支えるために
あなたにもできること

チャリティヘアサロン「スネガビーク」報告

事務局日誌より

今後のイベントスケジュール

会員さん紹介コーナー

作文集

『わたしたちの涙で雪だるまが溶けた』より

2009年度総会報告

汚染地の甲状腺ガンは今

ブレスト州立内分泌診療所長・赤十字移動検診チームスタッフ。2001年よりチエルノブイリ医療支援ネットワークと現地との合同検診に参加し、甲状腺ガン診断技術を学ぶ。妻で同僚のアリーナ医師、娘2人、息子1人とブレスト州に暮らす。42歳。

アルツール・グリゴロビッチ医師
Артур Григорович

アルツール・グリゴロビッチ医師に聞く

3月27日、アルツール医師が来福し、福岡市にて報告会を開催しました。本稿は、その講演内容を元に再編したものです。



■事故後に急増した甲状腺ガン

これはブレスト州を流れ、ドニエプル川に注ぐ、美しいプリピヤチ川の写真です（左下）。

1986年4月26日のことについて、皆さんの方がきっとお詳しいと思いますので、ここでは繰り返しません。私からは、事故後に起きたことを報じます。

ベラルーシには、6つの州があります。ブレスト州はその一つで、西にポーランド、南にウクライナと国境を接しています。人口は150万人です。1976年のデータでは、ブレスト州での甲状腺ガンは7件しかなく、非常にまれな疾患でした。76年から

甲状腺ガンを含めた、悪性腫瘍（ガン）全体の動向を見ると、男性に多いことが分かります。ここ10年間は、これまでに比べて1.5倍の発病率で、これは世界的な傾向でもあります。男女別のガンの内訳を見ると、女性の一位は乳ガン。続いて皮膚ガン、胃ガンと続きます。男性の一位は肺ガンで、皮膚ガン、前立腺ガンと続きます。

ガンの発見は、都市部と農村部でも異なります。ベラルーシでは直腸ガン、乳腺ガン、甲状腺ガンは、都市部において比較的多い傾向にあります。胃ガン、肺ガンは農村部に多い傾向があります。これは、都市と農村の環境などによって影響を受けています。

■ 成人期での増加傾向

小児甲状腺ガンは、以前はその多く

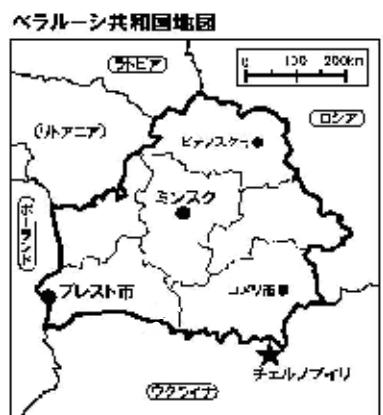
85年までの10年間で61件見つかりました。それが、事故後4年目の1990年に99人、95年には338人、00年には498人、05年には824人と増えていました。昨年は466件見つかり、合計で2186件見つかりました。

■ベラルーシのガンの状況

甲状腺の疾患では、結節性疾患、慢性甲状腺炎などが多くなっています。甲状腺疾患の性差を見ると、女性の方が男性より約4倍高くなっています。甲状腺の病気かかる患者の4人に3人は、女性ということです。

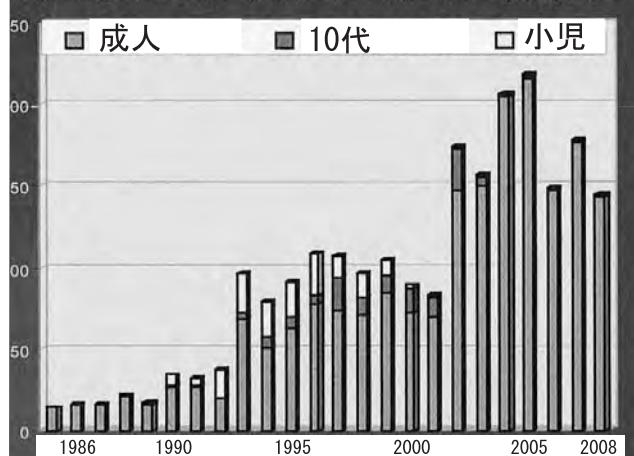
■日本の支援で発見率が向上

事故後、ベラルーシの小児甲状腺ガンは、ヨーロッパと比べ約20倍の高い発生率になりました。ガンの症例数のグラフを見ると、2001年に急に増えています。この頃から、私たちブレスト州内分泌診療所移動検診チームと、チエルノブイリ医療支援ネットワークとの合同検診が始まりました。日本の専門家が入って私たちの技術が向上し、甲状腺ガンの発見率が大きく上がりました。



が手遅れという悲惨な状況にありました。2004年からは、小児や10代での甲状腺ガンは減っていました。しかしこれは子どもが成長して、成人期のガンに移つたことを意味しています。小児や10代と入れ替わりに、成人期のガンは増加傾向にあります。ベラルーンの甲状腺ガンは、30歳までの若い年齢では、非常に転移が多い状況にあります。大量被曝のガンの進行は、非常に早いと言えます。私たちが見た症例で驚いたのは、わずか3ミリの微小ガンでも、25%の患者が転移していたという点です。ガン細胞が血液やリンパに乗つて、離れた臓器やリンパ節に転移する、遠隔転移の問題もあります。

Thyroid gland cancer dynamics among Brest region people



■ガンの種類と地域別分布

病理的にどういうタイプのガンかを見ると、93・8%が乳頭ガンです。乳頭ガンは手術しても割と予後が良い、経過が良いケースです。2%が濾胞ガン、1%が髄様ガン、4・1%が未分化ガンです。未分化ガンは、ガンの中では死に至る可能性が高い、危険なガンです。

0歳から15歳の甲状腺ガンの州ごとの傾向を見ると、一番汚染がひどかったゴメリ州が一番高く、1995年がピーク

です。子どもの頃に被曝した世代が成人して、今では高い年齢でガンが見つかっています。特にゴメリ州、ブレスト州、ミンスク市の3地域で増えています。ミンスク市は、地方の汚染地域から避難させられた人たちが多く集まり、また首都であるため良い医療機関が多く、発見数が高くなっています。

ロシアを含めて、事故によって一番影響を受けたのは、小児甲状腺ガンの増加だと言われています。ただ、臨床の現場にいる私たちとしては、小さな子どもだけでなく、成人層、20代の間でも被曝の影響があつたのではないかという印象を持つています。

■赤十字連盟移動検診チームとして

1997年10月、国際赤十字と日本赤十字の支援によって、ブレスト州内分泌診療所を拠点に、移動検診チームが設立されました。国際赤十字連盟から提供された検診車で、各汚染地を回り、検診をしています。

赤十字の移動検診チームスタッフは、 Chernobyl 医療支援ネットワークとの毎年の移動検診で研修を受けています。そこで学んだ技術によつて、一年間かけて州の全域を回り、検診を行つています。

1. 移動検診の目的は

1. 地方に住む被災者を検診
2. ガンのリスクのある患者に、エコー検査を実施
3. 二次スクリーニングとして、吸引穿刺（きゅういんせんし）を行う

■10年間で16万人を診察

移動検診では、検診を希望する村に行き、希望する人は誰でも検診を受けられます。

1998年から2008年の10年間で、移動検診チームが検診した住民の数は、16万4175名に及びます。そ

のほとんどが、ブレスト州の被災地に暮らす人々です。これはおそらく世界でも類を見ない数だと思います。

16万人のうち、悪性、良性の両方を含めて、6万870人が甲状腺疾患を持っています。大まかに言えば、40

%弱の人が、なんらかの甲状腺の病気を持っていたということです。

異常が見つかった患者のうち14・4

%（2万3693人）が結節性疾患、8・4%（1万4423人）が甲状腺炎（橋本病）でした。また、499名の甲状腺ガン患者を、初期段階で見つけることができました。内訳は、18名が小児、39名が10代でした。

私たちと日本との合同検診が2001年に始まり、それから吸引穿刺による検診を取り入れました。以来4200例の吸引穿刺を行いました。

■エコーと吸引穿刺でより正確に

移動検診車にはエコーの専門家と内科医が乗り、甲状腺検診を行います。ブレスト州全体で発見される甲状腺ガンのうち、約4分の1から2分の1が、私たちの移動検診チームで発見され

います。この一人の医師の力がある、効果的な検診をしているということを指しています。

私たちの甲状腺ガン検診は

①問診と触診

エコー検診とレポート作成

エコー画面を見ながら吸引穿刺

灰化という石のように硬くなつた部分があるので、それをエコーで見つける

というやり方です。

7歳の男の子の患者では、最初はエコーで見つからず、異常がないように見えたのですが、吸引穿刺によつてガンを発見しました。エコーでさえ見つけづらいガンもあり、また非常に小さいガンでも、若いために進行が早い状況です。



福岡来訪に合わせ、チャリティヘアサロンに協力下さっている美容室を訪問。写真はエトワールにて、美容師の皆さんと。(中央がアルツール医師)

■ 日本からの支援で多くを学ぶ

きゅういんせんし 吸引穿刺では、エコーで見た画像に注

射器を指し、甲状腺の細胞を取り出します。その細胞をプレパラートに出し、染色して、顕微鏡でガンかどうかを診断します。このやり方も、私たちが日本から

学んだものです。

10年前、医療支援ネットワークからエコーが送られました。日立のエコーは性能がよく、現地でも非常に有名です。

当初、染色で使う機材や試薬はベラルーシでは手に入らず、染色方法も分かりませんでした。そんな中で、日本からの支援で染色機材が届き、日本との合同検診によつて染色方法を学んだことは非常に効果的でした。現在では私たちも現場で機材をそろえて、自分たちで染色を行つています。

■ 日本の皆さまへ

これまで検診した中で、一番印象に残つている患者がいます。甲状腺手術をした後の、9歳の子どもで、のどに日本では考えられないほど、大きな手術の跡が残っています。どの部分を大きくU字型に切り、皮膚をめくつて甲状腺手術をする方法で、日本では数十年前の手術法です。日本の最新の手術では内視鏡を使い、傷跡は2、3センチと小さく、ほとんど手術痕は残りません。この子はその後回復して今も元気に活躍しています。

日本の皆さんからの支援に対し、被災地ベラルーシの患者に代わり、改めて感謝申し上げます。これからも、ベラルーシと日本の私たちの共同プロジェクトが続くことを願っています。

4月26日、23回目となるチェルノブイリ原発



事故の日がやつてきた。チェルノブイリ事故と甲状腺ガンの関係について考えます。

● 世界を震撼させた原発事故

1986年4月26日未明、旧ソ連ウクライナ共和国北部のチェルノブイリ原子力発電所で原子炉が爆走。大爆発を起こし、原子炉内の放射性物質が大量に空気中に放出された。

事故により、セシウム、ストロンチウムなどのほか、放射性ヨウ素(ヨウ素131)などが大気中に放出された。このような放射能が空気につれ、温度が下がると粒子となつて飛来し、植物や土壤に付着して、最後には人体にも取り込まれることになつた。

原発から半径30キロ圏の強制移住は、5月3日になつて始まつた。

● 最大の被曝国ベラルーシ

放射能は風にのって、世界各地へ広がつた。ベラルーシは最大の被曝国となり、国土の約3分の1が放射能汚染地となつた。事故から数日後、放射能は遠く日本にも届き、野菜や母乳から放射能が検出された。

ロシア、ウクライナ、ベラルーシ

の3国の汚染地域の総面積は14万5000平方キロメートルとされる。約600万人の住民がこの汚染地域内での生活を余儀なくされている。

甲状腺は、自然界からヨウ素を取り込み、ホルモンを作つていて。ベラルーシにも事故による放射性ヨウ素が広がり、それを吸収した甲状腺が影響を受けた。1990年代に、小児甲状腺ガンが急増したが、1995年をピークに減少。被災者の成長とともに、ガン患者の年齢も上がつている。

事故当時子どもだった世代は特に強い影響を受け、長い潜伏期を置いてガンとなることが多い。事故直後に受けた放射能の影響が、現在までも続いている。

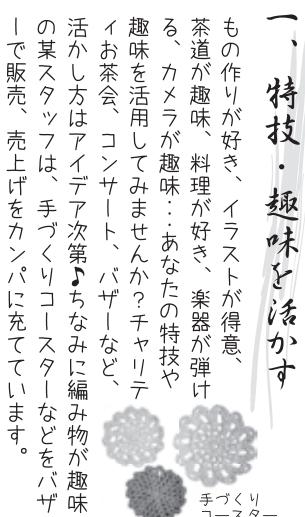
広島・長崎では、事故後数十年たつて、甲状腺ガンに続き乳ガン・肺癌が増えている。乳ガンは、甲状腺機能とも密接に関係し、現地での検診体制が遅れており、現在チエルノブイリ医療支援ネットワークでは、甲状腺専門医育成とともに、乳ガン検診の取り組みを進めている。



(※) 放射能とは「放射性物質が放射線を出す能力」のことを示します。しかし多くの場合「放射性物質」と同じ意味で使われているので、ここではそのように表記しています。

で	あ	な	た	に	も
き	き	き	き	き	き
る	る	る	る	る	る
こ	こ	こ	こ	こ	こ
と	と	と	と	と	と

チエルノブイリを支える方法はいろいろ。
あなたのアイデアもぜひお寄せ下さい♪



一、特技・趣味を活かす

- あなたの空いた時間を使ってボランティアしてみませんか？便利なボランティア登録制度もあり。
- 事務局ボランティア（随時）
パソコン入力やシール貼り、値札付けなど
- 通信発送ボランティア（年4回）
印刷や封入など
- イベントボランティア（イベント開催時）
活動紹介や物販、街頭募金など

一、行動する・活動する

- 講演会、イベントなどに参加する
毎月1回、交流会やイベントを開催しています（8ページ参照）。ぜひ一度足をお運びください♪
- メルマガ（無料）に登録する
毎月26日にメールマガジンを発行。タイムリーな情報をお届け。時には購読者限定のお得な情報も有。

一、行動する・活動する

- あなたの空いた時間を使ってボランティアしてみませんか？便利なボランティア登録制度もあり。
- 事務局ボランティア（随時）
パソコン入力やシール貼り、値札付けなど
- 通信発送ボランティア（年4回）
印刷や封入など
- イベントボランティア（イベント開催時）
活動紹介や物販、街頭募金など

売上的一部が寄付となる、有機無農薬栽培の「チエルノブイリ支援コーヒー・紅茶」を販売しています。安全でおいしいコーヒー・紅茶を飲んで、食卓からチエルノブイリを支援しませんか？



一、コーヒー・紅茶を飲む

- チエルノブイリについて話す
家族や友達と話してみませんか？現地の正しい情報を伝え、一緒に考えることも大切な支援です。
- 写真展や報告会企画する
文化祭やイベント用に、写真パネル、子どもの絵画などを貸出してます（送料のみ有料）。

一、伝える



- チエルノブイリについて話す
家族や友達と話してみませんか？現地の正しい情報を伝え、一緒に考えることも大切な支援です。
- 写真展や報告会企画する
文化祭やイベント用に、写真パネル、子どもの絵画などを貸出してます（送料のみ有料）。

一、知る

- 報告会・学習会を開く
スタッフがあなたの町へ伺い、現地や活動の様子をお伝えします！内容や時間、費用などはご相談下さい。
- 本や映画にふれる
作文集やブックレット、映画「ナーナの村」や「アレクセイと泉」など。書籍110冊は貸出し可。



一、お買い物をする

- 大切な人への贈り物に、「ゴメリ市」の福祉工房「のぞみ21」の「ベラルーシ雑貨」いかがですか？事務所で購入すると定価の1割引。<http://www.cher9.to/mingi/>
- 「イーココロ」のホームページ経由で通販会社のサイトを開き、ネットショッピングをする、お買上げ金額の一部が寄付されます。要会員登録（無料）。<http://www.ekokoro.jp/>



一、コーヒー・紅茶を飲む

- チエルノブイリとしてボランティア
郵便振替口座へ募金。赤い振込用紙で手数料無料。
0177-011-65328
NPO法人チエルノブイリ医療支援ネットワーク
- クレジットカードで寄付
イーココロのサイトで会員登録（無料）をする
こと、クレジットカードでの寄付ができます。
<http://www.ekokoro.jp/>
- 円々300円から「マンスリーサポーター」
ゆうちょ銀行からの自動引き落とし。お好きな額で、お好きな時に開始・停止OK。詳しくは事務局またはまたホームページで。
<http://www.cher9.to/dekiru2.html#month>
- インターネットでクリック募金
上記「イーココロ」(<http://www.ekokoro.jp/>)や、クリック支援サイト「4eC」(<http://4en.jp/>)の広告をクリックすると、スポーツセンター企業が寄付してくれます。

一、募金箱を置く

- 空き瓶に穴を開いた紙をかぶせれば、手づくり募金箱のできあがり。職場やお店先に設置していただけませんか？コツコツ小銭が、大きな力に。



- チエルノブイリとしてボランティア
郵便振替口座へ募金。赤い振込用紙で手数料無料。
0177-011-65328
NPO法人チエルノブイリ医療支援ネットワーク
- クレジットカードで寄付
イーココロのサイトで会員登録（無料）をする
こと、クレジットカードでの寄付ができます。
<http://www.ekokoro.jp/>
- 円々300円から「マンスリーサポーター」
ゆうちょ銀行からの自動引き落とし。お好きな額で、お好きな時に開始・停止OK。詳しくは事務局またはまたホームページで。
<http://www.cher9.to/dekiru2.html#month>
- インターネットでクリック募金
上記「イーココロ」(<http://www.ekokoro.jp/>)や、クリック支援サイト「4eC」(<http://4en.jp/>)の広告をクリックすると、スポーツセンター企業が寄付してくれます。

それぞれについて詳しくは、事務局までお気軽にお問合せ下さい。

オシャレに気軽にチエルノブイリ支援!!

チャリティヘアサロン「スネガビーグ」に157名が来場

チャリティヘアサロン「スネガビーグ2008」報告

文=三島さと子（事務局）

5回目のスネガビーグ

2008年11月3日（月・祝）、5度目となる「ヘアサロン・スネガビーグ」が福岡市にて開催された（「スネガビーグ」とはペラルシ語で雪だるま・雪の精という意味）。

「美容師として何かできることはないか」、そんな一人のスタイルの想いからスタートした一日限りのチャリティヘアサロン。1500円で髪を切って、その売上げをチャエルノブイリの支援にあてよう！という試みは、今年も多くの方々の協力によつて大盛況のうちに幕を下ろすことができた。

50名以上のプロと学生ボラ

今年は協力サロンとして新たに「あたりえen」が加わった。また個人ボランティアとして、以前美容師として働いていた千金美和子さん（「NGO福岡ネットワーク」ボランティアスタッフ）の協力も得ることができた。計6サロンと

大村美容専門学校の先生方による、総勢27名にプロの技術を提供していただいた。

また大村美容専門学校からは会場の提供とともに、美容師をめざす学生25名に運営ボランティアとして協力していただいた。元気な

あいさつと活き活きとした笑顔は会場の雰囲気を明るくし、それが来場者の笑顔を引き出していた。

さまざまな形の協力

「ヘアサロン・スネガビーグ」は、それぞれが持つていけるものを出し合つて形をつくっている。そこには本当にたくさんの人たちのサポートがある。技術を提供するプロの美容師の皆さんはもちろんのことだが、それだけではない。

例えば毎年すてきなチラシやポスターをデザインしてくださるイラストレーターのいのうえんちゃん。おいしい天然酵母のパンを作つてくださつたみてさん、クッキーを作つてくださつたあつこさん、馬場さん。キヤツチヨピーを考えたり、チラシを印刷したり

など開催までの準備を手伝つてくださつた方々。前日の搬入や会場のセッティングを手伝つてくださつた方々、受付や荷物預かり、物販など当日の運営ボランティアの皆さんなど、多くの方々の協力で成り立つている。

毎年の不安・・・

正直な話、開催日が近づくにつれ事務局では、「今年も人が集まりますかねえ」とマイナス思考な会話が続く。不安と焦りを感じながら広報活動やもちろんの準備を進めているのが実状だ。

老若男女を問わず、毎年多くの来場者がある。来場者の表情やアンケートなどを見ても、多くの方々に満足していただいているように思ふ。回を重ねるごとに知名度も上がり、リピーターも増えたようになる。それでもなお、「人が集まらなかつたらどうしよう」とついつい考えてしまうのである。

予想以上の来場者に喜び

しかし予約の人数や当日の飛入り参加の受付数、全体の流れなど反省・改善すべき点も色々と見つかった。より良いイベントにできるように今後も工夫を重ねていきたいと思う。今年の開催は、10月12日（月・祝）を予定している。前回の反省点をふまえ、来場者もスタッフも楽しんで参加できるイベントにできるよう、縁の下の力持ちとして頑張りたい。



イベントを支えたスタッフ・ボランティアの皆さん



大村美容専門学校のスタジオを借りて、1日限りのヘアサロンがオープン。10時開店から14時30分の閉店まで、老若男女、大勢の方にご来場いただきました。待ち時間など、ご迷惑をおかけした皆さん、ごめんなさい！

僕たちスタイリストの技術が、誰かの命を救うって素敵ですよね。お客様に喜んでいただいてイイコトができるし、集まった寄付が顔の見える支援に使われるで信頼しています。ご来場下さった皆さん、本当にありがとうございました。次回もどうぞお楽しみに！

来場して下さったお客様

157 名

協力して下さった美容師さん

27 名

参加して下さった
大村美容専門学校の学生ボランティア

25 名

みんなの力で
集まった寄付総額

167,179 円



3月27日、ブリスト州立内分泌診療所のアルツール医師へ、井上さんよりイベントの協力者名簿と寄付目録を贈呈しました。



協力サロン・美容師のみなさん

ヘア・ヌーダ（城南区友線亭5-10 Tel092-715-2770）
エトワール（中央区長浜2-3-1 Tel092-711-1738）
ウエストパーク（中央区荒戸2-4-18 Tel092-781-3285）
ピーチ（中央区大名1-8-33内山55ビル301号室
Tel092-725-2732）

アングル（早良区西新5-1-35-2F Tel092-846-3335）
あとりえen（城南区油山2-7-14 Tel092-801-6040）
千金美和子さん
大村美容専門学校の先生方



会場提供

学校法人 大村文化学園



協賛・協力

株式会社サンコール（シャンプー・リンス協賛）
グリーンコーポ生活協同組合ふくおか
(特活)NGO福岡ネットワーク (FUNN)

●アンケートより●

- ・素晴らしい企画だと思います。私も参加できてうれしいです。（お客様の声）
- ・とても丁寧にカットしていただいて、仕上がりもすばらしかったです。（お客様の声）
- ・毎回やり終えるたびに充実感が味わえるので、これからもずっと続けていきたいです（参加スタイリスト）
- ・誰かのためにやるってことは本当に気持ちいいです。もっと人の役に立てるような人になりたいです。（参加した学生ボランティア）



発起人・スタイリスト
リーダー
井上充昭さん
(hair Nu-DA)

事務局日誌より

主な活動報告



いろんなことが起ころる事務局の日々を一部ご紹介。活動の様子は、ホームページの「事務局スタッフブログ」でも紹介しています♪
<http://www.cher9.to/>



かわいいと人気の雑貨たち



どんな顔にしようかな♪

◆11月24日（土）マトリヨーシカ絵付け会
福社工房「のぞみ21」より入荷した無地のマトリヨーシカに絵付けをしよう！というワーキングショップを開催。世界にひとつだけのオリジナル・マトリヨーシカが次々と誕生しました。今年6月にも開催する予定です。どうお楽しみに！



コーヒーも好評でした♪

◆3月21日（土）第4回びおフェスタ
福岡NPO共同事務所びおとぶ主催のイベントにてブースを出展。コーヒーや福社工房「のぞみ21」の雑貨を販売しました。「マトリヨーシカ、かわいい！」と大好評でした。常連のボランティアさんやNGO仲間からも、お手伝い、ご支援をいただきました。



◆2月21日（土）2009年度通常総会
古賀事務所にて総会を開催。昨年度の事業及び収支決算報告と今年度の活動計画、予算、運営体制について協議を行いました。新年度も会員の皆さんと共に、現地から必要とされる支援活動を続けてまいります。詳しくは、10・11ページまたはホームページをご覧下さい。



◆11月24日（土）ベラルーシ検診団・調査団帰国報告会
昨年10月にベラルーシ共和国を訪問した調査団による報告会を開催。ロシア語医療通訳・コーディネーターの山田英雄さんより、検診の報告や世界の核被害の実態など最新の現地事情を伺いました。今回も実り多き検診団派遣でした。

参加者募集中。

今後のイベントスケジュール

春から初夏にかけて、催し物が目白押し。
ご参加お待ちしています♪

- グローバルフェスタinくるめ
2009年5月17日（日）10:00～16:30
え～るピア久留米（久留米市諒訪野町1880-8）
- のぞみ21ほか チャリティショップ
2009年5月23日（土）14:00～17:00
古賀事務所（古賀市駅東2-6-26パステル館203号）
- マトリヨーシカ絵付け会【要予約・定員10名】
2009年6月27日（土）14:00～17:00
古賀事務所（古賀市駅東2-6-26パステル館203号）
- ベラルーシ刺繍カフェ【要予約・定員10名】
2009年7月25日（土）14:00～17:00
古賀事務所（古賀市駅東2-6-26パステル館203号）
- 【広島】エレーナ医師来日報告会
5月24日（日）16:00～18:00 広島市まちづくり市民交流プラザ

ベラルーシ料理

クロスステッチ

チャリティショップ

マトリヨーシカ絵付け

筑後方面の方、
どうぞお楽しみに♪
全品なんと3割引！
新商品・掘出し物も。
毎年大人気の講座！
マトリヨーシカ￥1000
ベラルーシ伝統模様を
クロスステッチ♪



特別企画♪

私も応援しています！

会員さん紹介コーナー

Vol.4

このコーナーでは、チエルノブイリをともにお支えいただいている会員の皆さまより、活動への思いや現地へのメッセージをお聞かせいただきます。

取材／三島、寺嶋

本日の会員さん

福井 初子さん

＜福岡県古賀市＞

今も大好きなチエルノブイリ支援コーヒーを手に。



作文集『わたしたちの涙で雪だるまが溶けた』より
イエゴリ・マローズ（男）
第四中等学校11年生 シュクロフ町

知人の紹介がきっかけ。地道な活動に共感。

活動を知ったのは1998年。私たち「企業組合ワーカーズみんと」が、古賀に店舗を持ち、活動を始めた頃です。

地域の女性たちで、十年余り前まで、グリーンコープ花鶴店の中で弁当とお惣菜の店を営んでいました。働くお母さんや地域の方たちが安心して食べられる、体にいいものを届けたいと考えたためです。その後花鶴店が閉店することになった時、活動を続けようという女性5人で、配食と定食の店「みんと」を新たに立ち上げました。

お店のオープンまでは、さまざまな苦労がありました。店舗探しと合わせて大変だったのが、資金集め。5人で出資した300万円に、賛助会員さんから無利子で融資いたいた資金とで、1998年に開店にこぎつけました。それでも運営は苦しく、当初は人件費すら出ない時期が続きました。開店した頃、資金集めも兼ねて、（株）ウインドファームから有機コーヒー・紅茶を入れ、店頭販売と定食時に出していました。ウインドファーム代表の中村隆市さんは、同じ食の問題を取り組んできた古賀市に移転するという記事を読み、実際に見ていました。そうしたら、移転後の

子、中村さんが取り組まれている活動についてお話を聞かせていただきました。

その中村さんが、特に熱心に語ってくれたのが「チエルノブイリ」のことでした。

中村さんは、当時チエルノブイリ医療支援ネットワークで運営委員をされていて、一緒に支援する仲間にならないかと紹介されました。知り合いが頑張って応援しているのを知り、活動内容も信頼できると感じて、それから会員になりました。今思えば、中村さんと出会わなければ、ここまでチエルノブイリの支援を続けることもなかつたかもしませんね。

通信を通して伝わってくるのは、放射能のある中で生きていかないといけないという、被災地の現実。あの時、日本にも放射能が飛んできたことを思うと、自分だけ良ければいいという話ではないと思います。

世間から大きく注目されることはなけれど、コツコツと、地道に地味に活動を続ける・チエルノブイリ医療支援ネットワークのそんな姿は「みんと」の私たちと似ているかもしれません。「続ける」とことの大切さを感じます。現地からの感謝や成果をうれしく思うし、被災した子どもが大きくなつてまた別の問題が生まれてきている状況も気になります。これからも、同じ古賀で「地味に」頑張る団体として（笑）、応援していきたい。そう考えています。

（談）

祖母の住むマリノフカが汚染のひどいところだということを、当時はまだ誰も知らなかった。そこはすっと昔から、野生のナシの木があった。

僕のいとこのナジエージダはこのナシの木が好きだった。彼女は日記を書きはじめ、日記には、その後腫瘍専門病院での苦しみが書かれることになる。僕はこの勇気と真の崇高さが記されたナジエージダの日記の、最後の数日分をここに紹介したい。



「企業組合ワーカーズみんと」連絡先

電話 092-942-3134

雪だるまは少しずつ溶けた。それは私たちの涙で溶けてしまつたように思えた。

（部分）

工場を見学し、コーヒー農場での栽培の様

みにしていました。そうしたら、移転後のチエルノブイリ医療支援ネットワークが古賀市に移転するという記事を読み、楽し

日時：2009年2月21日(土)16:00～18:00
場所：シェルノブイリ医療支援ネット
ワーク古賀事務所

2009年度総会報告

詳細はホームページにも掲載しています。
http://www.cher9.to/kako_katudo.html

2008年度事業報告

【海外事業】

● ブレストにおける第8回検診団・第28次調査団の派遣（10月5日～10月16日）

◇期間：2008年10月5日～10月16日

◇メンバー：清水一雄（医師／日本医科大学）、村瀬幸宏（臨床検査技師／日本医科大学付属病院病理部）、武市宣雄（医師／広島甲状腺クリニック）、野宗義博（医師／済生会広島病院）、篠塚恵理子（研修医／日本医科大学付属病院）、大内崇弘（日本医科大学4年生）、山田英雄（ロシア語医療通訳・コーディネーター）、山口英文（シェルノブイリ医療支援ネットワーカ理事）以上8名（敬称略）

◇支援

・ベラルーシ赤十字：移動検診車「雪だるま2号」維持費1500ドル

・ブレスト州立内分泌診療所：細胞診用器具（スライドグラス等）、現地調達医療器具・試薬購入費2000ドル

・ビテフスク州立内分泌診療所：カプラードルガイド

◇検診：10月8～10日の3日間で53名の患者を診察。結果は悪性4名、悪性の疑い3名、良性・悪性鑑別困難12名、良性変化33名、検体不適0名。

●被災者と障がい者による現地福祉工房「のぞみ21」支援

【雑貨の仕入、取材、販売、商品開発など】

福祉工房「のぞみ21」商品の仕入、取材。寄付金2000ドル（2007年10月～2008年8月分の「のぞみ21カンパ」）を贈呈。

●母子を支援する現地NGO「コンフィデンス」支援

プロジェクトの支援金900ドルを贈呈。

【国内事業】

●報告会、イベント等の開催

・行つきました！21年目のシェルノブイリ帰国報告会（1月12日）

・あつたかベラルーシ料理教室（2月9日、3月15日）

●写真パネル展

（6月14日）

- ・福岡市立前原西中学校（8月10日）
- ・竹田市立久住小学校、竹田市立都野小学校（11月12月）
- ・中津市立小楠小学校（12月8日）

●2009年度事業計画

【海外事業】

●ブレストにおける第9回検診団・第29次調査団の派遣

*ブレストにおいて、現地関係者と合同での甲状腺ガン検診を実施する。現在不足している病理スタッフの育成に重点を置く。

*乳ガン検診の実施：昨年に続き、乳ガン検診の実現を目指す。

*支援金、支援物資の贈呈：現地で不足している医療機材・試薬などを確認し、物資及び購入資金を贈呈する。

●福祉工房「のぞみ21」支援

・ハートフルフェスタ福岡2008（10月26日）
・カンパの呼びかけ、雑貨の購入を通じて、引き続き

活動報告会「シェルノブイリ原発事故から22年～事故の経過から医療支援の現状まで～」（4月26日）

NPO・ボランティア見本市あすみん祭り（11月16日）

日吉台キリスト教会バザー（11月23日）

●会報誌『シェルノブイリ通信』発行

72号：2月29日発行（4000部）

73号：6月1日発行（3500部）

74号：9月13日発行（3400部）

●マトリヨンカ絵付け会（11月24日）

ベラルーシ調査団・検診団帰国報告会（11月24日）

●講師派遣

・クラーク記念国際高等学校福岡キャンパス（1月27日）

・「ギヤラリーよしき」寺子屋（4月19日）

・北九州市立石峯中学校（5月21日）

・NGOシンポジウム「国際社会とNGOの役割」

・ウェブページ（<http://www.cher9.to/>）を管理し、

学習会やイベント等の情報を発信。

・メールマガジンの発行（毎月26日）。

●情報発信

・ボランティア、インターの受入

・理事会の開催

・助成金の申請

・ワークショップ・セミナー等への参加、他

支援を実施。

展やパネル展示を行い、活動内容などを紹介する。

ティア協力を呼びかける。教育機関等からインター
ンを受け入れ、NGO活動の日常を知つてもらう。

● NGO「コンフィデンス」支援
現地での活動や関係者のインタビュー等を会報誌や
ホームページで紹介し、引き続き支援を実施。

● 物品の紹介、販売
インターネット、会報誌『チエルノブイリ通信』、書籍等で、コーヒー・紅茶、のぞみ21雑貨、撮影した写真のポストカードを作成し、販売する。

● 組織運営・強化
理事会や事務局会議、専門家会議等の開催

2009年度役員

理事長 寺嶋悠
副理事長 河上雅夫
理事 小山浩一、谷口恵、吉本美貴、和田幸策、川原秀之

● 定期的な交流会、イベント等の開催
毎月1回、原則第4土曜日に、広く一般の人を対象とした催しを開催する。テーマを設け、チエルノブイリやベラルーシについて、様々な面から興味を持つもらう。

● 情報発信
ホームページ管理、メールマガジンの発行、読者拡大、内容充実を行う。チエルノブイリに関する様々な情報や活動報告、現地最新情報などを発信する。

● 現在の会員数（※3月1日現在）
正会員 25名（個人）
賛助会員 2408名（個人／団体）

● 講師派遣、写真パネル展
広く一般の人々へチエルノブイリやベラルーシに関する様々なテーマの学習会や活動報告会の実施を呼びかけ、講師を派遣する。

● 会員拡大、資金調達
広報媒体を活用し、積極的に会員の拡大を図る。会員のニーズを把握。活動報告や寄付金の使途などの説明責任を果たす。

● ボランティア、インターの受入
国内で実施される国際協力イベント等にてブース出
● イベント参加、写真パネル展の実施
広く一般の人々へチエルノブイリやベラルーシに関する様々なテーマの学習会や活動報告会の実施を呼びかけ、講師を派遣する。

2008年度、海外事業では検診団の派遣を通して、これまで10年余り行ってきたストーリン地区・ブレスト市・ビテフスク市での検診結果の総確認と、乳ガン検診実施へ向けた下地作り、新たな医師育成に取り組むことができました。一方で、世界的な経済危機の影響と急速な経済成長の影で、現地では貧富の差が拡大しつつあり、のぞみ21や被災者家庭など社会的弱者はさらに困難な状況にあります。2009年度は、会員の皆さまと、支援先であるベラルーシとの結びつきを強め、より多くの方々の共感と信頼を得ながら、活動内容を充実、拡大させていく方針です。

新年度も引き続きご支援のほどお願いいたします。

理事・事務局スタッフ一同

科 目	08年度決算	09年度予算
I. 経常収入の部		
事業収入		
のぞみ21支援事業	528,358	600,000
報告会・講演会等開催事業	45,400	40,000
講師派遣・パネル展事業	0	50,000
書籍販売事業収入	42,614	50,000
イベント参加事業収入	304,095	290,000
コーヒー販売事業収入	479,048	600,000
事業収入計	1,399,515	1,630,000
補助金等収入		
民間助成金収入	367,422	100,000
補助金収入	0	0
補助金等収入計	367,422	100,000
寄付金収入		
活動支援金	9,219,207	10,000,000
のぞみ21カンパ	337,389	320,000
雪だるま3号カンパ	170,000	150,000
寄付金収入計	9,726,596	10,470,000
雑収入		
受取利息	2,577	3,000
雑収入	3,900	0
雑収入計	6,477	3,000
経常収入合計	11,500,010	12,203,000
II. 経常支出の部		
事業費		
検診・調査・スタディツアー事業	3,011,355	3,000,000
のぞみ21支援事業	74,818	70,000
報告会・講演会等開催事業	88,566	115,000
講師派遣・パネル展事業	3,947	5,000
会報発行事業	1,408,004	1,500,000
インターネット事業	5,315	10,000
書籍販売事業	908	50,000
コーヒー販売事業費（一般経費）	22,260	30,000
イベント参加事業	147,694	140,000
のぞみ21商品等仕入費（独自経費）	538,730	200,000
書籍仕入費（独自経費）	157,449	50,000
コーヒー仕入費（独自経費）	260,851	350,000
会活動（独自経費）	299,962	200,000
事業費計	6,019,859	5,720,000
管理費		
給料手当	3,840,000	2,840,000
法定福利費	535,817	350,000
支払報酬	78,540	0
会議費	0	5,000
交際費	1,530	5,000
旅費交通費	345,290	350,000
通信運搬費	101,365	120,000
消耗品費	322,596	50,000
新聞図書費	2,000	0
研修費	5,000	20,000
印刷製本費	24,450	30,000
水道光熱費	31,782	50,000
支払代家賃	419,000	510,000
保険料	20,000	0
リース料	3,720	0
諸会費	56,000	50,000
支払手数料	151,233	150,000
租税公課	400	0
雜費	61,140	10,000
為替差損益	74,852	20,000
法人税、住民税及び事業税	75,000	70,000
雜損失	11,937	3,000
予備費	0	300,000
管理費計	6,161,652	4,933,000
経常支出合計	12,181,511	10,653,000
経常収支差額	(681,501)	1,550,000
III. その他資金収入の部		
その他資金収入の部合計	0	0
IV. その他資金支出の部		
特別損失－過年度消耗品費	529,870	0
その他資金支出の部合計	529,870	0
その他収支差額	(529,870)	0
当期収支差額	(1,211,371)	1,550,000
前期繰越収支差額	6,282,332	5,070,961
次期繰越収支差額	5,070,961	6,620,961

たくさんのご支援を ありがとうございます。

(順不同・敬称略)

【北海道】チエルノブイリへのかけはし十勝 三木悦子 【東京都】長棟かおる 神田香織 須貝純一 統谷真紀 和田伸夫 北野溥 榎本みつ枝 青島頤 山崎さおり 有限会社マイン ド・ネットワーク 【神奈川県】江口英顯・恭子 宮脇正 横本真也 小島輝巳 山下君子 佐柳牧子 【千葉県】陣内美樹 高橋由紀子 林恭子 【埼玉県】加須市立加須北中学校 留美 【長野県】森本真希 岡田薰 【山梨県】大木正人 千トナープ自然学校 【福井県】武生第二中学校坂本分校 県】渋谷けい子 佐々木悦子 【愛知県】酒井淑江 【広河隆一 写真展事務局 【和歌山県】橋爪紀生子 【兵庫県】山本美和 中川洋慶 佐藤久美 【鳥取県】種和子 森山直子 田中亞未 【島根県】高山幸子 須田徹 【岡山県】水落靖子 【広島県】建築工社 田川美香 中本治 嘉子 河上由美子 木下るみ 【山口県】大谷正穂 高田正世 山本美代子 江田鈴枝 八木直美 安溪遊地 小川令美 吉野弘子 【高知県】NPO法人といのち 照子 【愛媛県】めぐみ 保育園職員一同 【福岡県】山崎末吉 吉元京子 深堀ミチ子 林田英明 河野英子 佐藤恵美子 折尾伝道所婦人会 寺 青木敬子 林田洋子 松尾博文 サトウ矯正歯科クリニック ク 谷村禎一 牧子 白水明代 桧原こひつじ幼稚園 こひつじ基金・森悠子 西嶋香穂子 桧原こひつじ基金・ 桑原千鶴子 田中美穂子 増田朋子 今川京子様・靖雄 吉清子 前田祐子 飯岡知子 金子久美子 梅根武 深江 美下須美子 西レイ 有田恵美 川崎清美 黒川和子 吉村淳子 小山信子 浅原望樹 山口幸子 德光照美 下田豊文 山浦真弓 本田美穂子 松本みね子 渡辺幸之新 菅原滋 深田俊 江 桜木秩子 前育子 チエルノブイリの会 末吉純子 松下京 橿原代 丸田裕子 谷尚子 伊藤和夫 大庭亮子 石橋芳子 岡野祐子 塩塚正康 相川美智子 林茉里絵 龜井廣 子 なおみの会共同作業所 貞池和恵 【佐賀県】庄籠道子 森永綾子 前育子 三根麻理子 岸川美好 【長崎県】谷口 美江 井形和子 中島幸代 有竹悦子 四元洋子 小塙憲理子 高藤富美子 富永勤子 太田千賀子 野村幸子 況レディス クリック 【熊本県】熊本YWCA 和田茉莉恵 橋本真奈 美 大渕恵津子 本武那保海 山田美佐子 橋口日出夫 中川

合計	2,006,246円
活動支援金	1,801,446円
のぞみ21カンパ	117,300円
雪だるま3号カンパ	87,500円

●マンスリーサボーラー
相川靖 有末あけみ 菊池香寿美 石本祥二郎 磯道綾子 稲田照子 岩口香織 内野希和美 延壽富美 大麻卓子 大久保仲子 大崎知恵 大中百合 大場満 片岡八重子 金山涼子 上村匠子 河上雅夫 川尻愛子 神田有希子 古賀輝洋 後藤宇企子 財津悠子 斎藤美代子 坂口馨子 坂口ヒロ子 佐竹早苗 佐藤一江 佐藤進一 佐藤照子 清水悦子 白浜千恵子 平笙子 高山知佐子 竹田恵子 武田孝子 田中京子 珍部千鳥 土持秀智恵子 丸山小より 水本敏子 三野桂子 村田聰子 村西美由紀 屋室芳乃 森川キミ工 山中陽子 山本敬子 山本亮輔
I-F-E & A-R-T 青空 東海林由紀
●物品寄贈(事務所備品等をご寄付いただきました)
豊田了一 匿名のキリスト教の教会 村上和代 片岡みか 鈴木弘子 川島則子 磯本真澄 田中香代子 森悠子 山下晶子 ほか匿名

のぞみ雑貨入荷しました!



昨年秋に買い付けた「のぞみ21」雑貨が船便で到着!入学3点セットや小物入れ、ティッシュケース、コースターなど新商品も登場。詳細はホームページまたは事務局へ。

リーフレット設置のお願い



団体の活動を紹介するリーフレットや通信を、お近くに設置していただけませんか?必要部数をお知らせ下さい。無料でお送りします。

●また少しだけ支援に参加させてください。●マトリョーシカのお箸と入れもの、とても愛らしくて気に入っています。●若い医師二人の姿がたのもしく感じられました。●いつか幸せな土地と日々が早く戻りますように。●チエルノブイリを忘れない!活動の継続を祈ります。●ステパンさんの訃報に驚き、次々につらいことが起きたナターシャさんの上に神の平安を心より祈っています。●コーヒーが安心して飲めて嬉しいです。●ほんの気持ちばかりですが…。●素晴らしい活動にいつも感謝しています。気持ちだけですみません。●皆様の幸せを祈りつつ、一助になればと送ります。●この活動がずっと続きますように願っています。●通信いつも読ませていただいます。健康で頑張って下さい!●美味しくて安全なコーヒーをありがとうございます。チエルノブイリの事故で被災された屋園今日花・昂介・桝・幾代 柳元秀昭 NPO法人じやがいものおうち 桑山道子

●また少しだけ支援に参加させてください。●マトリョーシカのお箸と入れもの、とても愛らしくて気に入っています。●若い医師二人の姿がたのもしく感じられました。●いつか幸せな土地と日々が早く戻りますように。●チエルノブイリを忘れない!活動の継続を祈ります。●ステパンさんの訃報に驚き、次々につらいことが起こったナターシャさんの上に神の平安を心より祈っています。●コーヒーガが安心して飲めて嬉しいです。●ほんの気持ちばかりですが…。●素晴らしい活動にいつも感謝しています。気持ちだけですみません。●皆様の幸せを祈りつつ、一助になればと送ります。●この活動がずっと続きますように願っています。●通信いつも読ませていただいます。健康で頑張って下さい!●美味しくて安全なコーヒーをありがとうございます。チエルノブイリの事故で被災された方々の御健康を心よりお祈りしております。●チエルノブイリ、水俣、出会い、手をつなぎ、大きな力の輪になつて続けていきます。●お願いいたします。●通信いつもありがとうございます。今後の活動がすつと続きますように願っています。●通信いつも読ませていただいます。健康で頑張って下さい!●美味しくて安全なコーヒーをありがとうございます。チエルノブイリの事故で被災された方々の御健康を心よりお祈りしております。●チエルノブイリ、水俣、出会い、手をつなぎ、大きな力の輪になつて続けていきます。●お願いいたします。●通信いつもありがとうございます。今後の活動がすつと続きますように願っています。●ステパンさんの不慮の死、残念なりません。ナターシャさんが少しでも元気になれるよう、「のぞみ21」を応援していきます。●地道な活動ですが、皆様の活動に感謝しています。私ができない分、よろしくお願いします。●ますます大切なお取り組みと思います。いつもありがとうございます。●世界の子ども達に笑顔を!!●皆様の愛が伝わってきます。皆様が栄光へと導かれますように祈っています。●一人でも多く、被災者の方が適切な治療で救われる様願っています。

後編集

▽事務局を古賀市に移して1年。最近では古賀・福津市の学校に作文集を寄贈したり公民館で料理教室を開いたり、地元に根付いた活動に力を入れています。(M・K)▽定額給付金、みなさまもう届きましたか?例えば、4人分で、甲状腺ガン検診に使う二ードルガイドとカブラーが1セット購入できます。通信欄に明記下さい。あなたの大切な善意をお預かりし、現地へお届けします。(ゆ)